

2018 年 8 月 9 日

鎌倉市長 松尾崇 様

図書館とともだち・鎌倉
代表 和田安弘
その他賛同 10 団体

(仮称) おなり子どもの家耐震改修工事中断状況について (要望)

日頃より、鎌倉市政の発展・向上にご尽力いただき感謝申し上げます。

さて、今年度より始まった(仮称)おなり子どもの家耐震改修工事がいま一時中止の状態にあります。報道によれば、建物の土台付近が事前の調査から予想された以上の腐食が見られ施工の見直しをせざるを得ず、9 月末まで工事の中断を決めたとされています。そして今後の方針について市は業者や専門家とも協議してなるべく早く決めたいと表明されているようですが、「先行きは不透明だ」とも報道されています。

当会にも公的不動産維持担当より連絡が入り、6 月 13 日に工事現場を外側からだけでしたが、見学させていただき、土台付近の腐食がかなりのものであることは確認できました。

7 月 5 日には神奈川建築士会スクランブル調査隊・かながわヘリテージマネージャーの方々、そして横浜国立大学名誉教授の吉田鋼市氏が専門家の目で現況調査を行っています。TOTOMO の会員も 1 名が立ち合わせていただきました。

その所見では、外壁面の土台の多くと柱・梁の一部に腐朽がみられるが、それ以外の躯体は健全な状態にあり、腐朽した部材の交換によって長期使用に耐える改修は可能であり、土台の交換自体は特別に困難な工法ではないとされています。

予算の追加や工期の遅れは避けられず、市としては頭の痛い状況だとは思いますが、この旧鎌倉図書館の建物は近代鎌倉の発展に大きく寄与した間島弟彦の事蹟として貴重であり、県内では数少ない昭和初期木造図書館の遺構です。

いったん解体予算を成立させながら市長ご自身が保存へと勇気ある決断を示され、景観重要建造物等保全基金の対象建築物としても認定されていることに鑑み、既定方針通りに市の中心部の歴史的景観を構成する重要建築物として修復する方向で今後も工事を進めていただきたくよう要望します。

当会も保存運動の中で募金活動を行い、市に寄附をさせていただきましたが、いまでも旧鎌倉図書館の保存のためという趣旨で市民からの寄付金が寄せられおり、それを預かっているところです。それらの寄付金が宙に浮いてしまうような状況にならないように切望します。

最後に、長谷子ども会館など市所有の歴史的建造物が多くあり、保存活用のためには耐震改修を行ったりメンテナンスを施したりしないといけない状況にあると思います。今回の工事をモデルケースとして成功させ、今後も歴史的建造物の保存・改修の実績を着実に積み上げていただくようお願いいたします。

賛同団体一覧 (50 音順)

いざかまくらトラスト、御成遺産グループ、御成小講堂の保全活用をめざす会、鎌倉を愛する会、かまくら女性史の会、鎌倉の世界遺産と秘宝を訪ねる会、鎌倉の別荘地時代研究会、国宝史蹟研究会、山王台自治会、松坡文庫研究会